

価値創造の源泉となる資本

東洋インキグループの経営基盤を支え、価値創造の源泉となるのが、財務・製造・人的・知的・社会関係・自然の6つの資本です。これらの資本を自在に活用することで、さまざまな社会課題を解決する事業活動を展開していきます。そのようなグループの事業活動が創出する経済価値や環境価値・生活価値が、経営基盤の強靱化とさらなる価値創造を実現するための原動力となります。

※数字は特記のない限り2021年12月末時点のものです。



財務資本

投資と株主還元を重視した健全な財務基盤

企業の持続的成長に向けた投資は、健全な財務基盤によって実現可能となります。東洋インキグループは、「財務体質の健全性」「成長に向けた積極的な投資」「株主への還元」の3要素の適切なバランスを重視した資源配分を行い、グループの価値創造を支えます。

■ 総資産	406,896百万円
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	9,492百万円
■ 自己資本	218,449百万円
■ キャッシュ・フロー(現金及び現金同等物の期末残高)	60,949百万円



製造資本

生活文化創造の土台となるモノづくりプラットフォーム

東洋インキグループは、創業以来モノづくり企業として社会に貢献することを志向してきました。原材料である顔料やポリマーから製品であるインキや各種機能性製品までを一貫生産できる体制によって、当社グループの掲げる生活文化創造を実現します。処方やノウハウ、生産技術を国内外のグループ各社が共有することで、地産地消とグローバル品質マネジメントの仕組みを構築し、地域ごと・市場ごとの要望に対し期待以上のソリューションを提供することができます。

■ 素材から製品までの一貫生産体制	
■ 品質マネジメントのグローバルネットワーク	
■ 生産拠点	国内13拠点 海外30拠点
■ 設備投資額	19,680百万円
■ 海外生産比率(数量ベース)	61.9%
■ 休業災害度数率	0.569(国内)

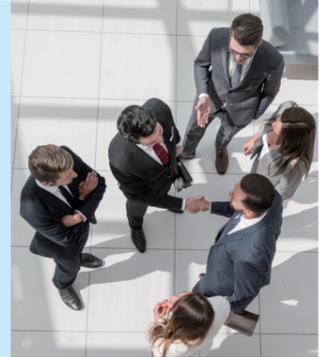


人的資本

価値創造を支える多様な人材と良好なエンゲージメント

東洋インキグループが最も重要としている経営資源は社員です。世界約8千人の多様な人材が各々のミッションに取り組み、グループの価値創造を支えています。さまざまな人事施策と育成プログラムを通じて、ダイバーシティ&インクルージョンの推進や、働きがいのある職場環境の醸成、社員各々のキャリア形成のサポートを図り、企業と社員の良好なエンゲージメント構築に取り組んでいます。また、デジタルによる事業改革を加速すべく、DXに対応できる人材の育成も進めています。

■ 連結社員数	7,887名(国内3,077名 海外4,810名)	■ 海外現地採用社員の管理職数	508名
■ 女性採用比率(新卒・中途)	33.3%(東洋インキSCHD原籍)	■ 社員満足度	84.5%(国内・社員意識調査におけるポジティブな回答率)
■ 女性管理職数	24名(国内・2022年1月時点)		



知的資本

新たな事業の創出・拡大を牽引する技術基盤と体制

■ 基礎研究・応用研究・製品開発に分化・階層化されたR&D体制	
■ 幅広い事業展開を可能にするテクノロジープラットフォーム	
■ 研究開発・技術部門社員数	778名(国内)

■ 研究開発費	8,496百万円
■ 特許保有件数	国内1,991件 海外869件



社会関係資本

地産地消を推進するネットワークと健全なサプライチェーン

■ グループ会社数	連結61社 持分法適用7社
■ 事業活動地域・拠点	24ヵ国 106拠点
■ 海外売上高比率	49.9%

■ 主要なサプライヤー	約300社(国内)
■ お客様との信頼関係を続けてきた時間	126年(創業1896年)



自然資本

企業と社会の持続可能性を支える地球環境と資源

■ エネルギー消費量	89,709kL(原油換算)
■ 水使用量	5,650千m ³

■ 原材料(石化系・非石化系)	168,356t
-----------------	----------

